

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月20日			
平成15年度	事業コード	15120	電話	0427-54-2577
担当部課名	生涯学習部	総合学習センター		学習情報 班
事務事業名	施設運営費（情報の活用）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	13年度
施策名	第2施策	生涯学習活動の支援	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
1. 学校間ネットワークを利用したインターネット活用授業の展開・学校間交流学習など学校教育の充実を図る。 2. 多様化・高度化する市民の学習要求に応えるため生涯学習情報の提供と相談に対応する。	1. 市立小中学校の児童・生徒、教員 2. 一般市民
	対象数 616,355人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1. インtranet活用...セキュリティに保護された快適なインターネット環境下での学習活用の促進とホームページ開設の促進、研究員による各種サーバ - の活用研究、子どものための生涯学習情報発信のシステム作りと稼働、学校教育用リンク集・センターホームページの充実、各種教職員研修講座の開催。 2. 生涯学習相談...生涯学習情報システムにより「講師・指導者」「講座・催し物」「団体・サークル」「施設・設備」の各情報をインターネット、街頭端末機で市民等に提供している。また市内の各生涯学習施設の利用予約がインターネット、街頭端末機、電話で行えるシステムを構築した。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	年間ホームページアクセス等件数(単位1万件)	さがみはらスタディメイトへのアクセス数+生涯学習情報へのアクセス数+生涯学習施設利用予約数	ホームページへのアクセス件数、生涯学習施設利用予約数を基礎にシステムの利用頻度を計る。		108	121	129	132
活動指標	生涯学習情報システムの情報提供数(単位1件)	生涯学習システムの「講師、指導者」「講座、催し物」「団体、サークル」「施設情報」の情報提供数	生涯学習システムの情報提供数により活動量を計る。	1,949	2,548	2,598	2,649	

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額		182,580	122,560	69,174	69,174
	人員・時間数		6人	6人	6人	6人
	人件費		50,520	50,340	50,340	50,340
	その他経費					
	合計	0	233,100	172,900	119,514	119,514
特定財源						
対象数		611,318	616,355	616,355	616,355	
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	0.4	0.3	0.2	0.2	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	インターネットによる生涯学習情報の提供は平成13年7月に、生涯学習施設の利用予約は平成14年6月に開始。開始して間もないため調整、推移を見る必要がある。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見、市が事業を行う必要がある インターネットを活用した学校教育の充実及び生涯学習の必要性は高まっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	学校教育及び生涯学習を支援する上で有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	公民館の正規職員が減員されるが、施設利用予約がシステム化されたことにより公民館の窓口業務が減少した。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	生涯学習施設の利用については費用負担すべきという考えもある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: イントラネット活用:サーバーを活用した教材配信、小中学校のホームページ開設の促進、各種研究・研修の充実を図る。 生涯学習相談:最新の情報に更新するとともに、市民にシステムのPRをする。	手段 プロバイダ契約の見直し	
		削減額	18,000 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		イントラネット活用:大和市では、イントラネット・高速インターネット・校内LAN整備事業が完了している。教員向けの実践的な活用をめざした研修内容を検討中。横浜市は、研究指定校を範囲とした整備が進められている。川崎市は、本誌と同様な環境を構築している。生涯学習相談:インターネットによる生涯学習の情報提供は多くの市で実施。生涯学習施設の利用予約システムは柏市で実施されているが、例は少ない。大和市はスポーツ施設の利用予約を実施。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	イントラネット活用:インターネットの活用は進んでいる。LANの特徴の一つである情報の共有化における学校間情報のやりとり、e-ラーニングを意図した情報コンテンツの整備、ワイドLANの整備などを進める必要がある。
<input type="checkbox"/>	廃止	生涯学習相談:インターネットを使った生涯学習の情報提供は平成13年7月、生涯学習施設の利用予約は平成14年6月に開始された。システムのPRとともに情報の充実が求められている。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント